

緑の風 FAX版



NO. 69 2021年11月17日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

働く者の現実と声を第一としない経営姿勢に立ち向かうため、組合員と共にJR東労組の強化・拡大に決起する11・17集会



次第

1. 開会あいさつ
2. 主催者あいさつ
3. 交渉報告
4. 会場からの発言
5. まとめ
6. 閉会あいさつ
7. 団結ガンバロー

11月17日、浦和コミュニティセンター多目的ホールにおいて、リモートも活用して200名を超える仲間の結集のもと開催され、リモート会場も含めて18名から発言がありました。

妥結後も、悔しさ・怒りが収まらない職場の声が出されました。そして、次のたたかいに向けての課題が明確になり、たたかう方向性について意思一致が図られました。JR東労組は、これからも組合員と共に、たたかいをつくり出していきます！

【参加者からの主な発言】

- 職場や団体交渉で訴えた組合員の声、生活実感や労働実感を受け止めない会社の姿勢に**怒りでいっぱい**だ。昨年よりも下がる理由はないはずだ。この間の努力を蔑ろにした回答だ。2.0ヶ月の回答に**納得感はない**。
- 要求を勝ち取るために、中央本部の団体交渉を私たち一人ひとりがつくり出していくとして、私はこれを訴えたいということを出し、中央本部と共にたたかってきた。
- 年末手当に限らず、**社友会に相談しても何もならない**。社友会は会社幹部に忖度している。社友会に所属しているのは会社に言われたから、目を付けられたくないからと言っている。
- 組合員・未加入者から怒り、落胆、諦め感の声が寄せられているが、その共通点は**会社は社員を守ってくれない**ということだ。
- 社員にはさらなるチャレンジを求めるばかりか、「**妥結しないと手当は出さない**」という圧力をかけるような**会社姿勢は許さない**！
- 職場の組合員・社員の賃金実態を経営幹部は分かっているのか。全ての犠牲と我慢が社員に強いられていると感じる。
- 21 春闘敗北から総括してきたことで、たたかいを積み上げてきた。**組合員の声を伝えていくことができるのは労働組合だけだ**！
- 怒りや悔しさを次のたたかいにつなげていく！やるべきことは組織拡大しかない！成果と課題を総括し、22 春闘に向けた姿勢をつくっていく！**会社姿勢をただしていくためにも、組織強化・拡大を実現していこう**！

年末手当の回答について、自分の正直な率直な想いを出し合い職場で議論を深めよう！
悔しさ・怒りを仲間と共有し、次のたたかいに向けて更なる組織強化・拡大をつくり出していこう！